



# がっこうだより

枚方市長尾西町2丁目45番1号 TEL050-7102-9176  
E-mail nishinagao-e00@city.hirakata.ed.jp  
URL <https://hirakata.schoolweb.ne.jp/weblog/index.php?id=2710079>

枚方市立西長尾小学校

令和6年11月26日号

<西長尾小学校のめざす児童像>

1. 心豊かな子ども（自他を大切に  
する、思いやりのある子ども）
2. 深く考える子ども（自ら学び、  
創造的な思考を持ち、柔軟に行動  
できる子ども）
3. 健康な子ども

## 平和を学ぶために —— わたしたちにできること

いよいよ修学旅行です。6年生は学校の代表として、平和な未来を築いていく主体者となる決意を込めたセレモニーの準備をしています。充実した修学旅行となるように、全員がしっかりと学んできました。

今日は、6年生がどんな心で、修学旅行で何を学んでくるのかをアピールするために作成した動画を1年生から5年生までの全学級で見てもらいました。



以前紹介したことがあります。改めて、当事者の立場になって考える材料として、被爆された方の体験をここに掲載しておきます。

### ひろしま ながさき ひばく やまぐちつとむ たいけん 広島と長崎で被爆した山口 彊さんの体験

— 山口 彊 著『ヒロシマ・ナガサキ 二重被爆』朝日新聞出版 より—

1945年8月6日と9日の二度被爆した山口 彊さんは、90歳を超えた2006年8月、生まれて初めてパスポートを取り、アメリカへ渡りました。国連本部とコロンビア大学で自身の被爆体験を語り、核兵器の廃絶と世界平和を訴えました。

2007年7月に、「命の続く限り、国境を越えて、私の体験を通じて得たことを訴えていきたい。心を繋ぎ、手を携えれば世の中を動かすことができるはずだ。」(まえがきより)

との思いで行動し、体験を書き残されました。

この本には、山口さんの生々しい被爆体験とともに、なぜ、体験を語り始めたのかという心の内があらわされています。下に一部を紹介します。



<山口さんが体験した8月6日の朝のようす> (以下は著書から)

……視野の中にただひとり、向こうから近づいてくる日傘をさしたもんぺ姿の婦人を認めた。同時に、遠くかすかに聞き慣れたB29のエンジンの音が聞こえたような気がした。婦人との距離が20メートルくらいまで近づいた時、彼女は急に後ろを振り返って空を見上げ、狼狽(ろうばい)した様子を見せた。私もそれにつられて空を見た。

機影(きえい)は見えないが、確かにエンジンを吹かせるような爆音がした。それはかなりの高空のようであったが、婦人はなぜか走り出し、近くのクリーク(水路)に身を隠した。その時私は見た。小さな白い落下傘がふたつ、相当の距離を保ちつつ次第にを落下してくるのを。人によっては落下傘は3つあったという人もいるが、そのちょうど打ち上げ花火のような小さな白いふたつの傘は、相当の距離を保(たも)って落ちてきた。

「なんだろう？」

そう思った瞬間だった。

地上に白い光が満ち、中空に炸裂(さくれつ)し、膨張する大火球を見た。まぶたをきつく閉じても見えるくらいの、それは青より白色に近いマグネシウムの色をした大爆発だった。

次いで、ものすごい爆風が私を吹き飛ばした。

かなたの街がねじれ、潰(つぶ)れ、すべてが、こちらに向かいわっと迫りくる光景が、見るともなく見え、眼底に焼きついた。

前後も上下も見失い、自分が立っているのか、どこにいるのか、すべてがどうなってるのかわからなかった。

映写フィルムのとてるカラカラという音が耳に響くと、なぜか妻や我が子の顔が回転して見えた。私はふたりに懸命に話しかけようとするのだが、妻と子の姿は次第に小さく、暗がりに溶け込み始めた。呼びかけようにも声が出ない。どんどんふたりの顔は暗闇と見分けがつかなくなった。私はそのまま気が遠くなってしまった。

どれくらい意識を失っていたかわからなかった。素肌を焼きごてでやかれるような疼痛(とうつう)で我に返った。

起き直り、そっと眼を開けた。濛々(もうもう)と舞い上がる砂塵(さじん)と爆

(ばく)煙(えん)で、海底にいるようにすべてがぼんやりしている。爆風で私は芋畑に吹き飛ばされていた。

事態がよく飲み込めず、うわずった気持ちは息をしようにもうまく呼吸ができず、意識は呼吸に取られ、空気の匂いもわからない。

空中を飛ぶ瓦の触れ合う音や物の落下する音、判別のつかない雑多(ざった)な破壊音が近く遠くをめぐって聞こえたが、それがどういうわけで鳴っていて、何の音なのかわからなかった。それまでに聞いたことのないものの破壊される音と不穏な気配があたりを包んでいた。

それらの音も爆煙もややおさまったとき、私は高空にまで立ち上ったきのこの状の巨大な雲の柱を見た。

それは竜巻のようでありながら、位置を移動するでもなく、その原点を踏まえたまま、頂点ではさらに高く、さらに横に大きく広がり、火山の噴煙のように盛り上がり、湧き、巻き返っていた。

(朝日文庫版 161 ページから 164 ページまで引用)

## ☆ 11月のようす

### 11月8日 2年生 コミュニケーション授業 (創作劇活動)

学期に一度行っているコミュニケーション授業です。「なにをされていて、どうなったでしょう」あてっこジェスチャーゲームをしました。6グループに分かれて、それぞれのグループにお題が渡されます。お題には、「大なわとびをされていて、なわをはなしてしまって……」など、何かが起きる内容になっています。各グループで10分ほど相談と練習をして、発表します。1学期から、どれだけ他者と関わる力を伸ばすことができたかを見取ることができました。みなさん一人ひとりの、協力し合う姿勢に成長を感じました。



☆日々の学校の様子は  
枚方市立西長尾小学校ブログ  
をごらんください。QRコード→



### 11月15日 4年生 PTA 4年コラボレーションフェスティバル

「ダブルタッチ」  
日本ジャンプロープ連合のインストラクターの方々にお越しいただきました。保護者の方と共に楽しく取り組むことができました。



### 11月14日 1年生 校外学習

しっかりと秋を味わうことができました。園内を一生懸命歩いていました。代表の児童の指示を聞き、時間を守って行動します。天候に恵まれて、とてもよかったです。お弁当の時間もしっかり楽しんでいました。



### 11月11日 3年生 自転車安全教室

実際に自転車に乗りながら、安全な運転について体感しつつ、考えました。乗る前の点検の合言葉「ブタはしゃべる」も確認しました。「ブレーキ、タイヤ、はんしゃき、しゃたい、ベル」の確認の重要性を知りました。「青信号でも左右の確認」など、積極的な安全意識について、実践的に学びました。



### 11月15日 5年生 校外学習

造幣博物館に行きました。貨幣の製造工程や歴史を学びました。

子どもたちは、自分のタブレットを駆使して展示物を撮影するなど、レポート作成のための資料を集めていました。



### 11月8日 4年生 校外学習

深北緑地へ行きました。JRに乗車、車内ではしっかりマナーを守り、過ごします。緑地では、警泥、じゃんけん列車など、広い緑地で、のびのびと遊ぶ姿が、とても生き生きとして、キラキラしていました。



### 11月12日 6年生 授業参観

平和学習発表会  
修学旅行の事前学習です、平和を作るために必要なことは何か、考えていきます。まずは世界の現状を知り、考えます。

